

■ 福ビル街区建替プロジェクト「感染症対応シティ」に向けた安全・安心なビルへ計画変更

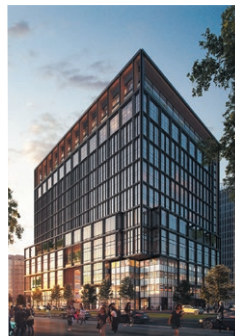
福ビル街区建替プロジェクトでは、安全・安心なビルへ計画変更するとともに、商品性の向上を図り、国内最高水準の大型複合ビルを目指します。

同プロジェクトでは、福岡市が進める「感染症対応シティ」の実現構想、産学官連携を進める「国際金融拠点」誘致に伴うハイスペックオフィス需要の更なる高まり等の外部環境の変化を踏まえ、換気機能の強化等の感染症対応や、高性能制震システムの導入等のBCP対応を強化し、安全・安心なビルへ計画変更いたします。

また、オフィス基準階面積を計画変更前の約1,300坪から約1,400坪へと拡大し、天井高3mの西日本最大規模となる大規模無柱空間を実現するほか、セキュリティゲートの設置等外資系企業のニーズに対応したハイスペックオフィスを目指します。このほか、オフィスエントランスのあるスカイロビーでは、企業間のコミュニケーションを促す機能を配置し、新しい事業を生み出す

クリエイティブな環境を整えます。

これらの外部環境の変化への対応や、商品性の向上による設計変更等に伴い、竣工時期を変更し、2024年度内のオープンを目指します。



建物外観イメージ



スカイロビーイメージ

※デザインは今後変更になる可能性がございます。
周辺建物はイメージであり、実際のデザインとは異なります。

■ 「ソラリア西鉄ホテル札幌」開業決定

西鉄ホテルグループとして北海道エリア初出店となる「ソラリア西鉄ホテル札幌」を2021年2月1日に開業いたします。

当ホテルは、優れた立地と交通利便性が特徴です。客室からは、国の重要文化財である北海道庁旧本庁舎と庭園を一望できます。また、JR札幌駅、地下鉄南北線さっぽろ駅、札幌駅バスターミナルから徒歩圏内に位置しております。

建物は14階建てで、客室は、スタンダードタイプをはじめ、ロッジをイメージしたコンセプトルーム、最上階には贅沢なつくりのプレミアムルーム等、全318室をご用意しております。

北海道庁旧本庁舎側を一面ガラス張りとしたレストランは、ナチュラルで落ち着いた空間となっており、北海道産の旬の食材を活かしたホテルシェフこだわりのお料理をお楽しみいただけます。



■ AI活用型オンデマンドバス「のりーと」全国の地域・交通事業者への展開

当社と三菱商事(株)が共同出資するネクスト・モビリティ(株)は、全国の地域・交通事業者向けにAI活用型オンデマンドバス「のりーと」のオペレーションの仕組みと導入・運営ノウハウの提供(ソリューション提供型事業)を開始いたしました。

「のりーと」は、時刻や経路をあらかじめ定めず、お客さまのリクエストに応じて適宜ルートを設定しながら運行するオンデマンド型の乗合交通サービスです。AIが利用データを蓄積・学習することで、より効率的な運行を可能とします。

当社では2019年4月以降二つのエリアで導入し、安定的に稼働することや新しい公共交通サービスとして有効であることを確認しており、ネクスト・モビリティ(株)では、当社での実績やノウハウを生かした導入計画の立案、運行、改善まで総合的にサポートします。

「のりーと」のサービスは、多様な移動ニーズへの対応による

利便性向上や車両の小型化等によるコスト削減を図ることができると、従来の定時定路線型のバスではサービスの維持が困難な地域等への導入が見込まれます。

今後も「のりーと」を通じた公共交通事業の課題解決に取り組んでまいります。



■ 中型自動運転バスの実証実験の実施

北九州エリアにおいて中型自動運転バスの実証実験に取り組んでおります。当社は、経済産業省・国土交通省が行う本実証実験の実証事業者に選定されており、自動運転バスの運行業務や関係機関との調整、検証項目の立案、試験走行を通じた各種検証等の役割を担っています。

本実証実験では、全運行区間において信号情報と連携することや、カメラ等複数のセンサーを活用すること等により、交差点の安全性や走行の安定性を検証します。また、試乗者や地域の方に広くアンケート調査を実施し、市民目線での課題の把握を行います。

近年、当社を含む多くのバス事業者が「バス運転士の不足」と「利用者減少に伴う採算悪化」という課題を抱える中、自動運転バスは、移動手段の確保やバス運転士の省人化、増便や運行時間帯の拡大等、バスの利便性向上等に寄与するものと期待されています。当社は、将来的な自動運転バスの社会実装を見据え、本取

り組みを通じて自動運転バスの運行に関する知見を蓄積してまいります。

